

公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチングアシスタント養成講習会（集合講習会）  
【スポーツ指導者養成コース】  
令和5(2023)年度実施要項  
実施要項（実施団体用）

1. コースの概要と背景

(1) 「スポーツ指導者養成コース」について

公益財団法人日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）では、公認スポーツ指導者制度に基づき、公認スポーツ指導者として求められる資質能力（思考・判断、態度・行動、知識・技能）に関する科目を体系的に編成した講習会等により、JSP0加盟団体等と協力して公認スポーツ指導者を育成しています。また、同制度では、申請基準を満たす（JSP0等が実施する講習会と同等以上と認められる）スポーツ関連団体等が実施する講習を「スポーツ指導者養成コース」として認定できることを定めております。

(2) 公認コーチングアシスタント資格について

JSP0では、令和元(2019)年4月、公認スポーツ指導者制度を改定施行し、スポーツ指導者基礎資格である「スポーツリーダー」に代わる資格として「コーチングアシスタント」を創設しました。この改定に際し改めて、公認スポーツ指導者を「スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードの考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる方」と定義しました。

これまで育成してきた「スポーツリーダー」は、登録・更新の必要がない（研修受講をJSP0で確認できない）永年認定資格でしたが、この「学び続ける」というキーワードに基づき、「コーチングアシスタント」は、資格の更新にあたって研修受講が必要となる登録・更新制資格といたしました。登録に伴って、情報誌「Sport Japan」をはじめとしたサービスを受けることが可能です。

【コーチングアシスタント・役割】

地域におけるスポーツグループやサークル等において、上位資格者を補佐する者として、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる者

(3) カリキュラム・講習形態について

前述の公認スポーツ指導者制度の改定施行にあたっては、カリキュラムや実施形態を変更しました。カリキュラムについては、スポーツ庁から受託した「コーチ育成のための『モデル・コア・カリキュラム』の作成」事業により、2016年3月に内容を取りまとめた「モデル・コア・カリキュラム」に基づくものに変更しました。このカリキュラムは、グッドコーチに求められる資質能力を確実に習得するために必要な内容を「教育目標ガイドライン（講義概要・到達目標・時間数）」として提示したもので、その特徴は、いわゆる「人間力」と称する「思考・判断（スポーツの意義と価値の理解、コーチングの理念・哲学等）」と、「態度・行動（対自分力、対他者力）」に関する内容の比重を増やしたという点です。

実施形態については、主体的・対話的で深い学びを目指してアクティブラーニングを導入するとともに、知識確認の方法としてオンラインテストを導入しています。

#### (4) 運動部活動の地域移行と大会等における資格保有の義務付けについて

運動部活動改革として取組みが始まっている地域移行においては、教員に代わる指導者の確保が課題となっています。また、指導者による不適切な指導も引き続き問題となっております。

このような状況を踏まえ、国（文部科学省）の第3期スポーツ基本計画においては、具体的施策として以下の内容が示されています。

- ・ JSP0 は、国の支援を受けつつ、中央競技団体等が主催する大会において、監督・コーチの公認スポーツ指導者資格の取得を義務付けるとともに、その他の大会や日常的な指導等の場においても、できる限り公認スポーツ指導者資格を有する指導者が指導に当たることを求めるなど、指導者が公認資格を取得することの意義を高めることにより、より多くの指導者が自ら資格取得を目指すような制度設計に取り組む。
- ・ 国及び JSP0 は、スポーツの価値を脅かす暴力、ドーピング、不法行為等をせず、また、行わないように倫理観や規範意識を含めたアスリート等の人間的成長を促すことのできるスポーツ指導者を養成する。

JSP0 は、上記に基づき、スポーツ指導者が競技団体開催大会への参加する際や日常的な活動に際して公認スポーツ指導者資格の保有を段階的に義務付ける取組みを進めております。

## 2. 申請（審査）に関する事項

「スポーツ指導者養成コース」として公認コーチングアシスタント養成講習会の実施を希望される団体は、**事前に JSP0 までご連絡いただいた上で**、遅くとも講習会開催 2 カ月前までに所定の申請書類を JSP0 にご提出ください。

また、申請内容に変更が生じた場合は、所定の変更届をご提出ください。

※ 変更届については、変更が生じた時点で速やかにご提出ください。

※ 原則集合講習日の変更は認めません。また、報告書提出時の変更届は、認められません。

## 3. 事務責任者に関する事項

事務責任者とは、講習会実施団体において、JSP0 が運営する「受講者管理システム」等を用いて、講習会の申請・報告の事務手続き、講習会の運営や受講者の管理（事前学習の管理、集合講習の運営および講師との連絡調整、事後課題の管理）等をご担当される方です。

事務責任者は、別紙関連資料（「事務手続きの流れ」、「受講管理システム利用マニュアル」）を熟読の上、講習会の運営にあたってください。

※ 事務責任者は申請されたコースにおいて受講者として受講することはできません。

## 4. カリキュラムに関する事項

### (1) カリキュラム（共通科目 I）

科目名	時間数		
	集合	自宅 (事前・事後学習)	計
コーチングを理解しよう	6.75	38.25	45
グッドコーチに求められる医・科学的知識			
現場・環境に応じたコーチング			

## (2) 講習設計

### ① 事前学習（学習期間は1カ月から2カ月間設けることが望ましい）

#### ・ 自宅学習

リファレンスブック（テキスト）のうち、共通科目Ⅰの学習範囲（目次部分に表示）の内容について、自宅学習を行う。学習期間は最低でも3週間は確保してください。

※ リファレンスブックは、JSP0 が提供するインターネットサービス「指導者マイページ」から受講者各個人で購入可能です。（紙版 4,400 円（税込）、電子版（PDF）3,520 円（税込））  
受講者には、事前学習開始までに購入するようご案内ください。

#### ・ 知識確認テスト（オンラインテスト）

自宅学習後、「指導者マイページ」から e-ラーニングシステムを利用し、知識確認テスト（オンラインテスト）を受験することにより、基礎知識を学習する（知識ベースとしての理解を深める）。受験可能期間は最低でも2週間は確保してください。

なお、知識確認テストは合格するまで何度でも受験が可能です。

知識確認テストに合格（出題問題の 60%以上の正答）した方のみ、集合講習を受講することができます。不合格者については、集合講習以降の受講は認められませんので、ご注意ください。

### ② 集合講習（1日）

受講者同士の学びの支援を行うコーチデベロッパーのファシリテートの下、アクティブラーニング（ケーススタディ・ディスカッション）を通して「プレーヤーズセンタードの理解」、「セーフスポーツの実現」、「コーチとしての成長」に関する内容を中心に学びを深めていただきます。

集合講習の全日程を受講した方が、事後学習に進むことができます。

なお、集合講習の全日程を受講していない方は、事後学習の受講は認められませんので、ご注意ください。

#### 【モデル日程】

	講習内容
9:00	受付
9:30	オリエンテーション・場づくり (30分)
10:00	コーチングを理解しよう① 「プレーヤーズセンタードなコーチングを理解しよう」 (1時間)
11:00	休憩・ソーシャルタイム (15分)
11:15	グッドコーチに求められる医・科学的知識① 「安全・安心な環境づくりをしよう」 (45分)
12:00	休憩 (1時間)
13:00	グッドコーチに求められる医・科学的知識② 「効果的なトレーニングを実施しよう」 (1時間30分)
14:30	

講習内容	
14:45	休憩・ソーシャルタイム (15分) (15分)
16:15	コーチングを理解しよう② 「理想のコーチ像を明確にしよう」 (1時間 30分) (1時間 30分)
16:30	休憩・ソーシャルタイム (15分) (15分)
18:00	コーチングを理解しよう③ 「コーチとしての成長」 (1時間 30分) (1時間 30分)
	事務連絡・閉会

### ③ 事後学習 (1 カ月半)

事前学習及び集合講習を通して得た学びや知識、気づきをベースにコーチとしての成長計画を作成し、1 か月間の実践を行った後、2 週間以内に実践の振り返りをまとめたレポートを実施団体に提出することで、学習内容の定着と実践力の修得、さらには課題の確認と目標設定(行動変容)に繋げる。

## 5. 集合講習における講師に関する事項

集合講習においては、JSP0 が手配する JSP0 公認コーチデベロッパー(以下「JSP0-CD」という。)を講義統括者として配置してください。

JSP0-CD とは、JSP0 が主催する共通科目コーチデベロッパー養成講習会を修了した方です。

また、受講者が 20 名を超える場合は講義統括者を補佐する講師を配置してください。

### (1) 講義統括者

#### ① 役割

講義運営、進行を担当いただきます。

#### ② 選定方法

JSP0-CDの中からJSP0が調整、選定します。連絡調整等については、別紙「事務作業の流れ(4. 講義統括者および講師の調整)」の記載事項をご確認ください。

### (2) 講師

#### ① 役割

統括講師の進行のもと、講義運営を補佐するとともに、担当するグループ内でのファシリテーション役として、受講者の学びを支援、指導していただきます。

※ 受講者が 20 名を超えるごとに 1 名配置してください。

#### ② 選定方法

以下の講師基準に基づき実施団体に講師を選定ください。

なお、JSP0 に講師(JSP0-CD 等)調整の依頼を希望する場合には、申請書類提出前に別途ご連絡ください。ただし、選定にあたっては、希望事項に沿えない場合がございます事を予め承知おきください。

具体的な手続き等は、別紙「事務作業の流れ」の記載事項をご確認ください。

#### 【講師基準】

アクティブラーニング・ファシリテーションを用いた教育・指導実績があり、実施団体や講義統括者からの依頼事項（講習会前の資料確認や打合せ等）に対応できる者で、以下のうちいずれかの条件を満たす者とする。

1. 国・公・私立の大学、短期大学、スポーツ・体育系専門学校等における教育実績を持つ者
2. スポーツ・体育分野における教育、指導または研究実績を持つ者
3. JSP0-CD として JSP0 共通科目講習会等において活動実績がある者
4. その他、上記に準ずる者として JSP0 が認める者

#### 6. 成績判定に関する事項

事前学習の知識確認テスト（オンラインテスト）の合格及び集合講習（1 日）全プログラムの受講、事後学習の取組状況により判定します。

#### 7. 講習会の終了報告に関する事項

事後課題の取りまとめが完了した後、実施団体にて所定の様式を用いて終了報告書を JSP0 に提出することと併せて、受講管理システムにおいて修了者の「科目申込状況ステータス」を変更してください。

#### 8. 経費に係る事項

##### (1) 受講管理料

受講管理に係る経費及び e-ラーニングシステム利用料等として、受講者 1 名当たり 2,750 円（税込）を JSP0 に納入してください。本経費の納入後に、事前学習の e-ラーニングシステムが利用できるようになりますので、申請書の提出と同時期に JSP0 に納入してください。

なお、受講管理料納入後は、いかなる理由があっても返金いたしませんのでご留意ください。

受講管理料も含め、受講者から実施団体が徴収する受講料の金額については、実施団体にて決定してください。

##### (2) 講師謝金および旅費

JSP0 が手配する JSP0-CD（講義統括者）への謝金については、以下を基準とし実施団体から支給してください。

なお、実施団体において定める謝金基準に準ずる場合は、調整依頼時に必ずその旨を明記することとし、併せて具体的な謝金額をお示しください。また、JSP0-CD が会場までの移動に係る旅費については、実費を原則とし実施団体から支給してください。

実施団体が手配する講師への謝金および旅費の支給額及び支給については、実施団体に一任いたします。

#### 【JSP0-CD 謝金基準】

1 時間当たり 5,000 円または 1 日当たり 30,000 円

##### (3) その他実施に係る経費

会場借損料や通信運搬費、講習会で使用する物品の購入費、資料作成費等のその他実施に係る経費については、全て実施団体の負担といたします。

## 9. 認定に関する事項

修了者には、登録案内を JSP0 から送付いたします。

公認スポーツ指導者登録規程に基づき、登録手続き（登録料の納入等）を完了した者を公認コーチングアシスタントとして認定し、「認定証」及び「登録証」を交付します。

資格認定日は、終了報告書の提出日以降の4月1日または10月1日となります。

※ 認定日までに修了者に JSP0 倫理規程第4条に違反する行為があったとして JSP0 が認めた時は、登録の権利を失い認定されない場合があります。

## 10. 免除に関する事項

以下のいずれかに該当する場合、公認コーチングアシスタント資格のカリキュラムである共通科目 I の受講が免除となるため、免除申請を行うことで同資格を取得できることから、原則講習会を受講する必要がありません。

- ① JSP0 公認スポーツ指導者資格を有する方（スタートコーチ、スポーツドクター、スポーツデンティストを除く）または、公益財団法人日本スポーツ協会講習・試験免除適応コース共通科目修了証明書を有する場合。
- ② 日本スポーツ少年団認定員資格を保有していた場合（併せて JSP0 公認スポーツリーダーとして認定されているため）。
- ③ 健康運動指導士を有する場合。

## 11. その他

本講習会の開催にあたり不明な点や疑義が生じた場合、必ず以下まで問い合わせを行うようにしてください。

**【本件に関する問い合わせ先】**

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ指導者育成部 育成課  
コーチングアシスタント担当

E-mail : [ca@japan-sports.or.jp](mailto:ca@japan-sports.or.jp)

TEL : 03-6910-5812